

米海軍岩国診療所見学を実施しました！

実施概要

- 1 趣 旨 臨床研修医が海外医療機関の診療状況等を学ぶ良い機会となることから、臨床研修の一環として実施
- 2 見学先 米海軍岩国診療所（岩国市三角町 米国海兵隊岩国基地内）
- 3 実施期間 令和4年10月7日（金）～11月9日（水）8時30分～12時00分
- 4 参加者数 9人（1年次：6人，2年次：3人）

【米海軍岩国診療所見学 研修レポートから（抜粋）】

・総合診療科（ホームドクター）の医師の外来見学をさせていただいた。日本と違って、患者が先に診察室で待っていて、看護師が問診を行い、医師に情報を伝えてから医師が診察室に入る様式であった。見学させていただいた数時間だけでも、妊婦健診、精神科疾患、整形外科疾患、nexplanonの抜去といった日本では多科に渡る分野のことをホームドクターが行っていることが分かった。患者と医師が顔見知りであり、信頼関係を築きやすいことがホームドクターのメリットであることを実感した。しかし、ホームドクターと専門医は違う視点を持っていることがあるため、それぞれの役割について考えた。

（2年次研修医）

・総合内科の診察を見学。総合内科だが、産婦人科領域の検査も行っており、診療の幅広さを大きく感じた。

（2年次研修医）

・総合診療の外来見学をさせていただけることで、内科疾患を中心とした診療が行われていると想像していたが、実際には内科疾患だけでなく整形外科から婦人科まで一人の医師によって多岐にわたる診療が行われていた。

・診察の際には必ず自ら名乗り、握手してから診療に入ることによって比較的早期から患者と対等な関係でコミュニケーションを図ることができているように感じた。また、行える画像検査に限りがあるため、患者の主訴に合わせた的確な身体所見を重点的にとっていた様子も印象的であった。

（1年次研修医）

・産科のエコー検査にしても、当院では産科医が行っていたが、アメリカでは医師は一切行わず、エコー専門のスタッフが行うそうだ。タスクシフト、タスクシェアが進んでいる証拠なのだろう。

・基地内には所属部隊の隊員をはじめ、その家族も暮らしており、幼稚園から高校まで敷地内に整備されていた。クリニックでは隊員とその家族の健康管理と Primary care に重点を置いている。

・内科の外来診療を見学させていただいたが、Primary care を担う医師として、患者個人の生活背景にまで迫った指導を細やかに行っていたのが印象的であった。可能であれば、4週間ローテや衛生関連の訓練など、院外研修としてクリニックとの関係強化ができれば、Primary careをはじめ、研修医のレベルアップにつながるのではと感じた。

（2年次研修医）

・外来診療を見学させていただいた。先生方は、総合診療科として、内科だけでなく、前十字靭帯の診察や、PTSD といった精神疾患の患者にも対応しており、外科も診られる幅広い知識が必要だと感じた。また、衛生兵が先に事前情報を聴取して、医師にプレゼンすることで、時間短縮を可能とっていた。また、診察室で医師が患者を待つのではなく、先に患者を入らせて医師がそこに出向くという形をとっており、患者の診察を終えると、**dirty room** という札に変え、一回一回清掃を行い、感染対策がしっかりなされていた。仕事場の雰囲気もとても活気があり、仲の良さを強く感じた。一人一人が余裕をもって仕事に向き合っていた。

（1年次研修医）

- ・当初は基地内の診療所と聞いていたので、町医者、クリニックのようなものと思っていたが、手術室や分娩室などの施設もそろっている病院であることに驚いた。
 - ・基地で働く日本人医師の方とも話す機会を設けていただき、海外留学の話や、海外の医師免許の話聞くことができ、おそらく将来必要になる身であるので、とてもありがたかった。米海軍基地での診療は、海外留学と同じ経歴として見なされるため、短期間での就労はとても魅力的だと思った。
- (1年次研修医)

- ・先生が患者さんの話を親身に聞き、患者さんの悩みに寄り添いながら色々なお話をされているのを見て、日本の外来よりもリラックスした雰囲気の印象を受けた。もしかすると、米軍基地という特殊な環境で、知り合いが多いことに関係があるかもしれないなと思った。
 - ・CT スキャンが診療所内にはないことを知ったときは驚いた。
 - ・診療所で働く日本人の先生のお話も聞き、とても刺激もらった。半日という短い時間だったが、普段働いていてなかなか触れることのできないアメリカの医療を知ることができて良かった。英語の勉強も頑張ろうと思った。
- (1年次研修医)

- ・本邦の診察と比較し、医師と患者、患者家族がよりフランクに会話をしており、患者側が医師へ質問・相談などをしやすい環境や雰囲気が作られているように感じた。
- 産婦人科病棟では新生児の誘拐対策として監視カメラ等の防犯体制が厳重でありお国柄による様々な違いを実感し、印象的であった。
- (1年次研修医)

- ・初対面の方とのコミュニケーションの仕方、気遣いは大変参考になった。
- 日本にいながら、海外留学と同じ経験ができる岩国診療所での研修は大変勉強になった。来年も機会があれば是非参加させていただきたい。
- (1年次研修医)

